

科学研究費補助金（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	19104001	研究期間	平成19年度～平成23年度
研究課題名	モジュライと代数的サイクルをめぐる代数多様体の数理	研究代表者 (所属・職)	桂 利行（法政大学・理工学部・教授）

【平成22年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
	A+ 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>代数幾何学において、モジュライと代数的サイクルは中心的テーマであり、この分野に強い日本は、世界から本格的取り組みが期待されている。</p> <p>本研究は、層の厚い研究分担者の協力のもとに国際人的ネットワークを活用し、研究集会等の企画・実施を柱に全国的に研究を推進する体制を整備し、その結果として、研究組織発の研究論文が多くの国際一流誌に掲載され、また研究分担者の2名が4年に一度開催される国際数学会議の招待講演者に選ばれるなど、当初目標に対して順調に研究が進展している。研究代表者は、Artin 不変量1の超特異K3曲面の構造解明、準楕円ファイバー空間の研究、Calabi-Yau 多様体の正標数不変量の研究で成果を挙げている。</p> <p>研究代表者の異動があったが、引き続き一貫した研究推進方針を維持する計画が立てられており、当初目標に対して期待どおりの成果が見込まれる。</p>	